

平成 30 年度

事業報告

社会福祉法人しろね福社会

特別養護老人ホームしなの園

老人デイサービスセンターしなの園

老人介護支援センターしなの園

平成 30 年度事業報告

***** 目 次 *****

第 1. 沿革史	1-2
第 2. 総務部門	3
第 3. 業務部門	
1. 医務の活動状況	4
2. 給食の活動状況	5
3. 機能訓練の活動状況	5
第 4. 介護老人福祉施設事業	6-7
第 5. 短期入所生活介護事業	8-9
第 6. 通所介護事業	10-11
第 7. 居宅介護支援事業	12-13
第 8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）	
1. 理事会・評議員会の開催状況	14
2. 防災訓練実施状況	15
3. 研修参加の状況	16-17
4. 実習生受け入れ状況	18
5. 事故発生状況	18-20
6. ボランティア受入状況	20-21

第1. しなの園沿革史（平成30年度）

月	日	動 き
4	2	辞令交付式(新規採用職員1名)、永年勤続表彰式(20年勤続4名)
	15	庄瀬さくら祭り参加（キッツエンジャー出演）
	17	イオン白根店様、黄色いレシート贈呈式出席
	23	新規採用2名
	26・27	DS加茂川鯉のぼりツアー
	30	白根ローターアクトクラブ様、花の苗植えボランティア
5	1・2・8	特養：加茂川鯉のぼりドライブ
	16	新規採用1名
	17	平成30年度事業・決算 監査
	17	庄瀬小学校4年生交流（5/17,26、6/19,26、7/6,23、9/28、10/12,21、11/9）
	26	庄瀬小学校運動会見学・参加（特養・SS利用者参加）
	31	第1回理事会
6	7・8・11	白根大凧合戦観戦（特養・SS・DS利用者参加）
	8	新潟県知事選挙・期日前投票（3名参加）
	20	第1回評議員会
	27	第1回防災訓練
7	4	施設内定期研修会（講師：佐久間歯科医師）
	5	特養利用者結核検診（レントゲン車にて）
	25	第三者委員研修・報告会
	31	白南中学夏休み訪問ボランティア体験3名
8	1	建物内喫煙禁止
	3	社会福祉法人監事研修（新潟県社協主催）（1名受講）
	12	庄瀬農村公園祭り参加
	15	サマーチャレンジボランティア2018（新潟商業高校生3名）
	22	庄瀬地区 JICA（国際協力機構）研修員施設見学及び交流会（研修員10名・事務局員2名・ホームステイ家族・白南中学校生徒・庄瀬コミ協等）約75名
9	3	新潟県新採用職員研修・施設体験研修（3名）
	9	特養新体制、現場説明会
	16	敬老会（感謝状授与、DSは17～23日まで敬老会実施）
	17	100歳お祝表敬訪問（1名）
	23	肢体不自由児者父母の会主催 ミュージックケア
	30	庄瀬地区防災訓練参加
10	5	衛生委員会（産業医水戸部先生出席、職場環境視察及び指導）
	6	しなの園祭り（しなの園正面玄関にて）
	6	南区健康福祉フェア参加
	18	第1回南区家族介護者教室（新潟市委託事業）
	21	庄瀬小学校文化祭見学、庄瀬地区文化祭へ作品出展

月	日	動 き
	24	(南区社協主催) 施設ボランティア受け入れ担当者研修会 (当園にて)
	25	第2回理事会
	26	新潟市長選挙期日前投票 (3名参加)
	31	(ハローワーク主催) 福祉・介護就職フェア参加
11	1	新規職員採用 (1名)
	9	特A班拠点空調清掃 (業者により)
	11	ボランティア交流会 (9団体26名出席)
	15	第2回防災訓練 (夜間想定)
	19	新規職員採用1名
	27	エアークラブ様車椅子整備ボランティア
	28・29	イベント食・握り寿司 (日清医療食品様協力)
12	9	特養家族学習会及び懇談会
	10	施設内研修「ラインケア」 (介護労働安定センター様協力)
	14	南区第2層白南・白根第一圏域 第1回「支え合いのしくみづくり会議」開催
2	7	新規職員採用 (1名)
	12	消防立入検査
	13・14・15	機能訓練指導員採用試験 (4名受験)
	17	(有志にて) 小林地区卓球大会参加・準優勝
	24	第45回庄瀬地区芸能祭、キッツエンジャー参加
	26	通所介護事業所集団指導参加
	27	居宅介護支援事業所集団指導参加
3	13	生活保護指定介護機関に対する個別指導 (新潟市)
	15	南区第2層白南・白根第一圏域 第2回「支え合いのしくみづくり会議」開催
	23	第2回南区家族介護者教室 (新潟市委託事業)、認知症カフェにて開催
	26	第3回理事会
<p>○嘱託医契約書見直し (夜間対応の際の条項追加) 配置医師緊急時対応加算、看取り介護加算Ⅱ取得</p> <p>○独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター様による経営分析 (4/20～) 6/21・22 ヒヤリング (サポートセンター職員2名来園、職員12名ヒヤリング) 7/20 経営分析報告 (サポートセンター職員2名来園、幹部職員、副主任以上対象) 9/3～8 経営分析説明会 (職員向け・全6回)</p> <p>○10/1～ 特養3班体制から2班体制へ (なし・ぶどう班が特A班へ、りんご班が特B班へ) SS夜勤時間の変更へ (深夜勤務22:00～翌7:00)</p> <p>○3/18～ 就業規則変更に伴う職員向け説明会 (全6回)</p> <p>○ニラク様よりお菓子の寄贈 (合計22回)</p>		

第2. 総務部門

1. 総務部門の活動状況

□リスクマネジメント

- ・入院、通院が必要な介護事故に対して、施設加入保険の適正な範囲内で対応した。
- ・特養利用者が退所の際、個人私物の紛失があり、保険対応とした。
- ・介護事故の保険対応基準について、保険会社に相談・検討したがマニュアル化には至らなかった。
- ・職員の通勤途中での事故（怪我）に対して、労災保険のほか業務災害保険で対応した。

□法令遵守

- ・事務処理については、職員間で相互チェックすることで適正に行えた。
- ・労基法等の改正に合わせて、就業規則等の諸規程の見直し変更を行った。
- ・介護保険の各種加算要件の確認と必要な届出を行った。

□職員の技術・知識の向上

- ・外部研修への積極的な参加はできなかったが、介護現場の補助に入ることが多かったため、専門分野以外の介護知識について実務を通して習得することができた。

□地域交流と貢献

- ・南区支え合いのしくみづくり事務局として、コーディネーターのサポートはできた。

□人財の確保・定着

採用	退職
6名 (管理栄養士1名、介護職員5名)	14名 (看護師1名、介護職員13名) ※看護師は定年退職

- ・産休・育休職員 1名
- ・ハローワーク以外の求人媒体も活用したが、応募がなく欠員補充には至らなかった。
- ・福利厚生、各種諸手当の見直しを行った。
- ・平成30年度年休取得率：39.0%（平均付与日数：18日、平均取得日数：7日）
（前年度比：▲7.3%）

□経費節減

- ・暖冬により除雪費用が削減できた。（除雪を業者に依頼することがなかった。）
- ・人材確保難により欠員補充ができなかったため、結果的に人件費削減となった。
- ・人員不足による介護職員の負担軽減を図るため介護リフト等を導入した。
- ・新年度に向けて事業の見直しを行った。

第3. 業務部門

1. 医務の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・重点目標を挙げ、医務職員の意識向上に励んだ。
- ・カンファレンスで医療職としての対応や考えを伝え、多職種との情報共有を図った。また、実務を通じて介護職との連携を図った。
- ・個別の要望に合わせ、相談、対応を行った。

□リスクマネジメント

- ・感染予防対策の基本として、標準予防策（スタンダード・プレコーション）の浸透を図るため、定期研修会等で研修を行った。
- ・感染症委員会と連携し、施設内でのインフルエンザ・ノロウイルス等の発症予防に取り組んだ。また、全国的にインフルエンザが大流行したため、面会制限等の対応を行うことで罹患を防止することができた。
- ・特養利用者と職員に対して、インフルエンザ予防接種を実施した。また、該当者に肺炎球菌ワクチン予防接種を実施した。
- ・感染症等のマニュアルについて、随時見直しを行った。

□職員の技術・知識の向上

- ・外部研修に参加。医務ミーティング、研修会等で復命を行った。
- ・定期研修会で、緊急時の対応、留置カテーテルの取り扱いについて、研修を行った。
- ・介護職員対象に、毎月痰吸引の研修を行った。

□地域交流と貢献

- ・利用者・家族及び近隣地域に対して、感染症（インフルエンザ、ノロウイルス）予防などの情報発信を行った。

【その他】

- ・入院者数及び延べ日数 19名、182日（前年度 29名、359日）
- ・胸部X線検査（結核検診）検診車 74名、白根総合病院 6名
- ・肺炎球菌ワクチン接種 13名
- ・インフルエンザ予防接種 特養利用者 77名、職員 80名
- ・配置医師緊急時対応加算
早朝・夜間・・・7件（650単位：46,137円）
深夜・・・5件（1,300単位：65,910円）
- ・夜間待機番対応回数
オンコール対応・・・32回
出勤対応・・・13回

2. 給食の活動状況

□利用者の処遇改善

- ・ケアプランに基づいた、適正な栄養ケアマネジメントを継続できた。
- ・多職種と情報共有し、健康状態の維持および低栄養状態の改善に向け取り組んだ。
- ・多職種協働で、褥瘡予防および発症後の早期改善に向け、適切に対応した。
- ・経口摂取支援のカンファレンスに参加し、自分の口から食べる楽しみを継続できるよう多職種で支援を行った。
- ・給食委託業者と、意見交換や情報共有を行い、サービス向上に努めた。
- ・献立に対しての意見や要望を汲み取るため、喫食調査の実施と各ユニットに「アンケートノート」を用意し、集まった意見をもとに検討を行った。
- ・喜ばれる食事提供：コンセプトメニュー 2回
その他各種行事食
- ・給食委員会主催イベント：握り寿司〔11/28・11/29〕

□リスクマネジメント

- ・内部研修講師：「食中毒について」
- ・外部研修参加：「栄養・衛生管理指導会」「バザーに係る食品衛生講習会」
- ・災害備蓄品、保存水の保管管理を行った。
- ・非常食の内容変更について、委託業者と協議中に終わった。
- ・食事に異物混入があり、委託業者に再発防止を要請した。（2件）

3. 機能訓練の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・生活リハビリ、個別訓練を行い概ね利用者の機能維持が図れた。
- ・カンファレンスに参加し、モニタリング評価を行い、内容の見直しや生活リハビリの周知を図った。
- ・ショートステイでは、利用者の減少により実施者が数名のみであった。

□リスクマネジメント

- ・事故対策委員会での報告や状態変化があった際にケアマネと相談し、プランの見直しを行うことでリスクの軽減を図った。
- ・訓練時の様子など、適宜ケアマネや介護主任等に報告し、介護方法の見直しを検討した。

□職員の技術・知識の向上

- ・外部研修、園内研修に参加し知識の向上を図った。

※特養個別訓練実施率 23,809（特養訓練実施者数）／28,754（特養利用者数）約 82.8%

※ショートステイは全利用者対象として、体制加算を算定。（個別実施：243人）

第4. 介護老人福祉施設事業

1. 平成30年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・施設特有の臭気を抑え来園者から良い評価を受けたが、利用者個々ベッド周囲の整理整頓が行き届いていないと指摘をされることがあった。
- ・新体制に伴い大幅な居室変更により利用者の精神的負担や、職員の情報共有不足から利用者の対応に影響を与えてしまった。
- ・個別対応では、新規利用で離床できなかつた方が離床できるようになったことや、嚥下困難な方に経口摂取できるよう多職種が連携し支援できた。
- ・パブリックスペースをうまく活用し、経営栄養者と関わる時間を充実させることができた。

□リスクマネジメント

- ・骨折事故3件あり、ヒヤリハットで類似した出来事から骨折事故に繋がってしまった。
- ・新体制により家族に不安を与えてしまった。
- ・重篤な感染症発症者はいなかったものの、感染症流行期に長期間面会制限を行ったことで面会者に不便な思いをさせてしまった。
- ・家族研修会及び懇談会を開催し、入所から看取りまでの経過、リスクマネジメントについて説明を行うことができた。

□職員の技術・知識の向上

- ・経口カンファレンスを多職種で毎月実施し、食事について様々な視点で検討や見直しができる。
- ・新体制により多くの職員と連携を要する為、意識し合ってチーム全体の向上に取り組めた。
- ・お見送りカンファレンスは人材不足もあり下半期は開催することができなかった。

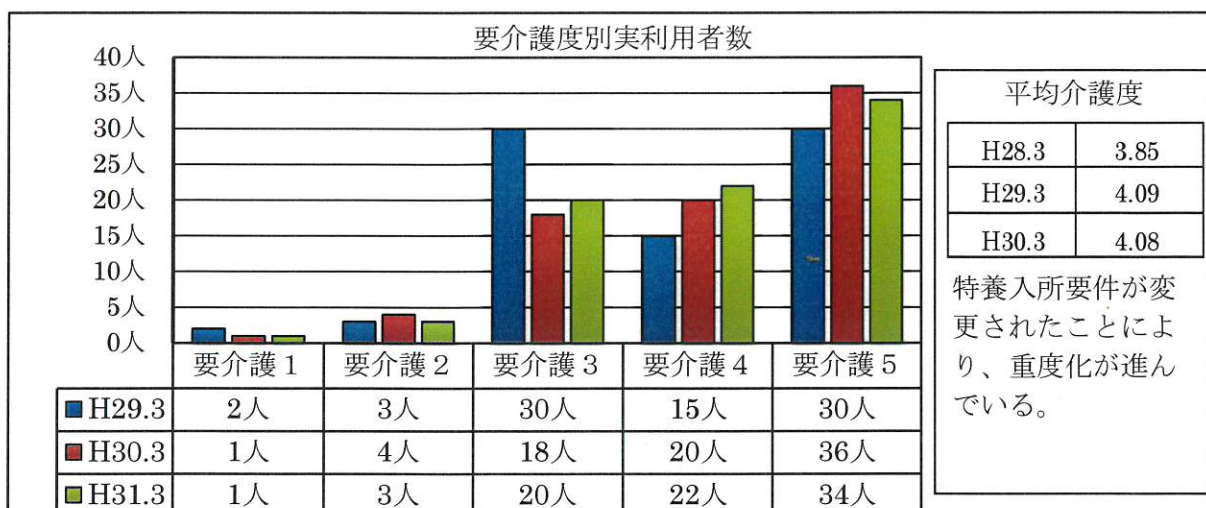
□地域交流と貢献

- ・外出ツアーを増やし地域とふれ合う機会が作れた。また、利用者の権利を守り選挙に投票に出かけることもできた。
- ・家族から自宅まで外出希望があった際に臨機応変に相談及び対応が行えた。
- ・介護実習2名、体験学習2名、相談援助実習3名受け入れる。実習ごとの専門職のみならず、多職種で実習生を支援できた。

□稼働率の維持・向上

- ・目標稼働率 98% → 実稼働率 98.5%。新体制から無理のない受け入れ体制となり、空きベッド日数が非常に多くなってしまった。
- ・経口維持加算 14名算定。職員が目的を理解しカンファレンスが定着している。また、家族へ取り組みを説明した際には良い受け止めをされていた。
- ・身体拘束者 0名。平成30年度介護報酬改定に基づき身体的拘束等適正化委員会を発足し、様々な視点から利用者の尊厳を保つことができた。

2. 業務実施状況



【入退所状況】 *入所者合計 19 名、退所者合計 19 名、入院者合計 13 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	2人	3人	2人		1人	1人	1人	1人	1人	4人	2人	1人	19人
退所	3人	2人	1人		2人		3人	1人	2人	2人	2人	1人	19人

【入所申し込み状況】

	新潟市	燕市	五泉市	田上町	その他	合計
平成28年度	231人	1人	0人	57人	1人	290人
平成29年度	236人	0人	0人	32人	0人	268人
平成30年度	263人	0人	1人	44人	0人	308人

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2,384	2,430	2,384	2,480	2,472	2,389	2,429	2,320	2,421	2,388	2,192	2,465	28,754
稼働率	99.3%	98.0%	99.3%	100.0%	99.7%	99.5%	97.9%	96.7%	97.6%	96.3%	97.9%	99.4%	98.5%

第5. 短期入所生活介護事業

1. 平成30年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・モニタリング担当者を中心に、ケアプランや短期入所サービス計画書の内容を把握してチームで共有し、PDCAサイクルを意識してサービス提供が行えた。
- ・利用者の要望や状態変化があった時は、毎日のミーティングを活用してチームで迅速に情報共有し、対応の検討が行えた。
- ・地域行事への参加や外出などの行事を企画し、実施することができた。
- ・利用者が主体的に楽しみながら参加できるよう工夫し、季節に合わせた壁紙などの作品作りに積極的に取り組んだ。
- ・機能訓練指導員と連携し、生活動作の維持・向上のために必要な利用者には、身体状態に合わせた個別リハビリが行えた。
- ・体操教室は実施状況にばらつきがあり、できない日も多かった。

□リスクマネジメント

- ・転倒リスクのある利用者について情報共有していたが、数件の転倒事故があった。幸いケガには至らなかった。
- ・職員一人ひとりの気づきをチームに発信することはできているが、その受け止め方にまだ個人差がある。
- ・意見要望については真摯に受け止め、職員間で情報共有し、同様のことが起こらないよう再発防止に努めたが、振り返りが不十分であった。
- ・人員不足の中、状況の変化に合わせて定期的にシフトの変更や業務分担の整理や見直しを行い、安定したサービス提供に努めることができた。

□職員の技術・知識の向上

- ・丁寧な対応を意識して努めたが、業務が集中している時は、ゆとりがない対応となってしまうことがあった。
- ・外部研修の復命は行えているが、内部研修の復命に時間が掛かってしまった。
- ・未経験の新人職員に対してはOJTを活用し、技術及び知識の向上が行えるよう指導が行えたが、経験のある異動職員に対してのフォローが不十分であった。

□稼働率の維持・向上

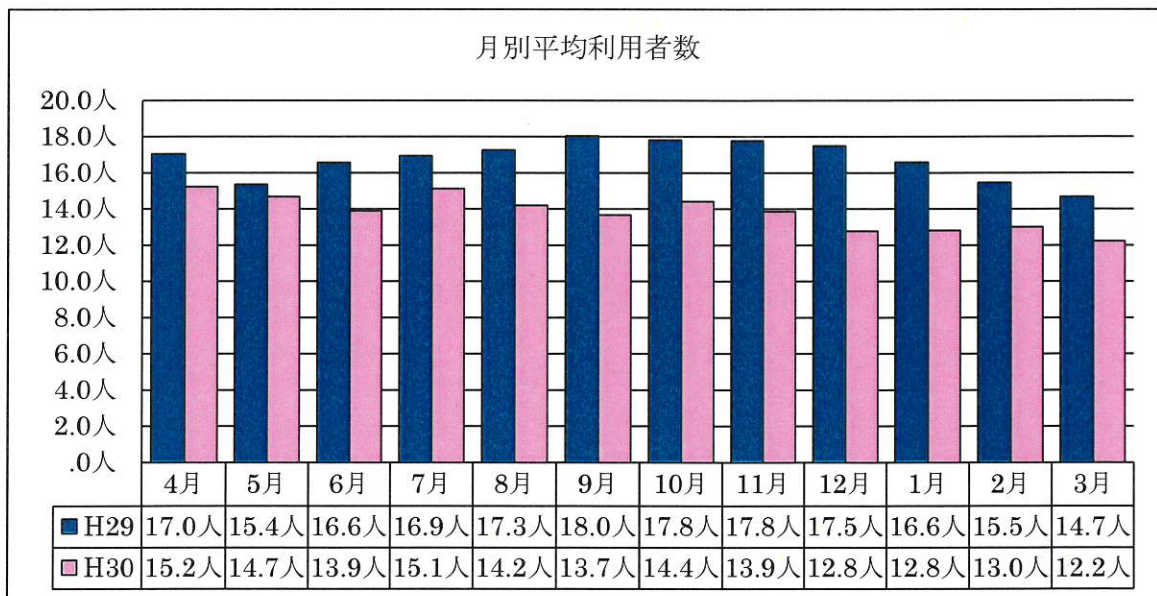
- ・目標稼働率80% → 実績稼働率69.1% (1日平均人数13.8名)
- ・人員不足による職員体制に変更があり、無理のない受け入れ調整を行ったことにより稼働率の低下に繋がった。
- ・年末から体調不良によるキャンセル、入院者・施設入所者が増加した。
- ・人員不足のなか、緊急入所や入退所者が多い時も臨機応変に対応できた。
- ・新規利用者等、利用者一人ひとりの要望や状況、状態に合わせた柔軟な対応が行えた。

2. 業務実施状況

【利用実績】

	平成30年度 利用内訳					平成30年度	平成29年度
	利用人数	延べ人数	1日平均	新規利用者	送迎件数	稼働率	稼働率
4月	51人	457人	15.2人	5人	243件	76.2%	85.2%
5月	52人	455人	14.7人	3人	245件	73.4%	76.8%
6月	46人	417人	13.9人	2人	221件	69.5%	82.8%
7月	44人	469人	15.1人	3人	223件	75.6%	84.7%
8月	46人	440人	14.2人	3人	214件	71.0%	86.3%
9月	43人	410人	13.7人	5人	200件	68.3%	90.2%
10月	46人	447人	14.4人	2人	228件	72.1%	89.0%
11月	45人	416人	13.9人	2人	196件	69.3%	88.8%
12月	41人	396人	12.8人	2人	200件	63.9%	87.4%
1月	43人	397人	12.8人	2人	197件	64.0%	82.9%
2月	41人	364人	13.0人	2人	186件	65.0%	77.3%
3月	39人	379人	12.2人	1人	206件	61.1%	73.4%
合計	537人	5,047人	-	32人	2,559件	-	-
平均	45人	421人	13.8人	3人	213件	69.1%	83.8%

【月別平均利用者数】



【要介護度別実利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成30年3月	1人	2人	7人	15人	16人	6人	3人	50人
	2%	4%	14%	30%	32%	12%	6%	100%
平成31年3月	0人	1人	6人	14人	8人	8人	2人	39人
	0%	3%	15%	36%	21%	21%	5%	100%

第6. 通所介護事業

1. 平成30年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・下期より介護ミーティングを定期的を開催し、処遇の検討や業務の見直しを図った。それに伴い相談員、看護、介護の多職種で連絡会議を行い、多職種の連携を強化し利用者の処遇向上に繋げた。
- ・個別機能訓練のメニューを増やし、楽しみながらも継続できる内容にした。また利用者の機能に合わせて柔軟にプログラム内容を変更した。

□リスクマネジメント

- ・介護事故やヒヤリハットについては迅速に対応を検討し再発予防に努めたが、対策後の確認、職員回覧が遅れがちだった。
- ・車輦事故があったため個別に運転指導を行った。ハイエース運転に携わる職員全てが運転指導に関わり再度注意事項を確認、共有した。また、個別指導を行うことで今後の運転指導の方法について確認できた。

□職員の技術・知識の向上

- ・重度の新規利用者に対してカンファレンスを開催。看護師より疾患に対する詳細を説明してもらい、介護職はリフトの講習会に参加し受入体制を整えた。結果スムーズな受入ができ、職員の技術や知識向上に繋がった。
- ・パート職員や看護師にも利用者の送迎業務に携わってもらい、在宅生活の様子や家族とのコミュニケーションなど、デイサービス業務の全般を理解してもらった。

□地域交流と貢献

- ・通所型基準緩和サービスについては利用者自身が毎回話し合っって外出を企画し、行動計画を作って実行した。
- ・男性利用者のみで食事会、女性利用者の買い物ツアーなど、目的を持って外出することができた。

□稼働率の維持・向上

- ・通所目標稼働率 80% → 実績稼働率 77.5% (1日平均人数 19.3人)
- ・通所型基準緩和目標稼働率 60% → 実績稼働率 37.5% (1日平均人数 1.9人)
- ・2019年度より業務縮小のため、12月から新規受け入れ中止。土日利用している利用者の調整を行った。それに伴い4月を待たず事業所変更や短期入所へ移行する利用者が数名おり、土日の利用者数が減少した。
- ・週末の短期入所利用者が増加、夏の猛暑により9月から体調不良者が増加し、稼働に影響した。

通所介護・介護予防通所介護相当

	実利用数	通所延べ利用者数	予防延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
						H30年度	H29年度	H30年度	H29年度
4月	74人	455人	85人	30	18.0人	6人	5人	72.0%	83.6%
5月	75人	489人	103人	31	19.1人	1人	3人	76.4%	82.8%
6月	77人	495人	96人	30	19.7人	2人	0人	78.8%	86.3%
7月	75人	541人	97人	31	20.6人	1人	0人	82.3%	85.5%
8月	77人	574人	80人	31	21.1人	2人	2人	84.4%	84.1%
9月	71人	495人	77人	30	19.1人	1人	1人	76.3%	84.7%
10月	69人	500人	82人	31	18.8人	3人	1人	75.1%	82.5%
11月	75人	508人	92人	30	20.0人	4人	1人	80.0%	76.4%
12月	78人	547人	94人	31	20.7人	1人	0人	82.7%	76.4%
1月	75人	499人	86人	31	18.9人	0人	3人	75.5%	72.1%
2月	71人	441人	85人	28	18.8人	0人	1人	75.1%	73.4%
3月	67人	462人	90人	31	17.8人	1人	1人	71.2%	75.1%
合計	884人	6,006人	1,067人	365	19.4人	22人	18人	77.5%	80.3%

要介護度別実利用者数

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成30年3月	6人	4人	12人	15人	20人	14人	7人	2人	80人
	8%	5%	15%	19%	25%	18%	9%	3%	100%
平成31年3月	8人	4人	11人	18人	18人	11人	3人	5人	78人
	10%	5%	14%	23%	23%	14%	4%	6%	100%

通所型基準緩和サービス

	実利用数	延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
					H30年度	H29年度	H30年度	H29年度
4月	7人	25人	20	1.3人	0人	3人	25.0%	6.0%
5月	7人	35人	23	1.5人	0人	1人	30.4%	8.7%
6月	7人	32人	21	1.5人	0人	0人	30.5%	11.8%
7月	9人	37人	22	1.7人	2人	0人	33.6%	10.5%
8月	10人	42人	23	1.8人	1人	0人	36.5%	11.3%
9月	10人	40人	20	2.0人	1人	0人	40.0%	14.3%
10月	11人	49人	23	2.1人	1人	0人	42.6%	15.5%
11月	10人	45人	22	2.0人	0人	2人	40.9%	24.5%
12月	11人	46人	21	2.2人	0人	1人	43.8%	22.9%
1月	11人	40人	23	1.7人	0人	3人	34.8%	22.6%
2月	11人	48人	20	2.4人	0人	0人	48.0%	20.0%
3月	11人	46人	21	2.2人	0人	0人	43.8%	23.6%
合計	115人	485人	259	1.9人	5人	10人	37.5%	16.0%

第7. 居宅介護支援事業

1. 平成30年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・アセスメントとモニタリングにおいて、問題点だけでなく、利用者本人の“在りたい姿”に着目した。これにより、機能だけにとらわれず、生活実現に向かう視点が持てるようになった。
- ・チームケアとしては、生活目標をケアプランへ明記し、サービス担当者で共有することで、各専門職からの意見、生活に繋げる具体的アプローチ方法の提案を受け、実践に繋がった。
- ・看取り期や入退院等において、医師や医療関係者を交えた相談の機会が増え、支援体制や支援の方向性が明確となり、生活支援へ繋がった。
- ・支援に際しては、家族等親族、近隣住民も含めた支援者の情報や関わりを整理し、サービス利用だけではなく、インフォーマルサポートを意識し、支援できた。

□リスクマネジメント

- ・業務マニュアルについて、相談員と協働で訪問マナーマニュアルの見直しを行った。
- ・居宅業務に関しては、ヒヤリハット報告を継続し、随時振り返りや共有を行い、苦情や事故等に至らないよう努め、自事業に対する苦情等はなかった。
- ・サービス内容に対する相談等を受け付けた際は、公正中立な対応が行えるよう状況整理を行いながら、利用者とサービス提供を行う事業所との仲介、調整を行った。

□職員の技術・知識の向上

- ・法人内事例研究会では、多職種の事例を通し、それぞれが求められる役割、多角的なアプローチ方法の理解を深めることができた。
- ・研修は予定通り参加できた。各研修を通し、コミュニケーション技術、指導力、チームでの連携や調整力等、個々の弱み・強み・課題を整理することができ、新たな目標に繋がった。

□地域交流と貢献

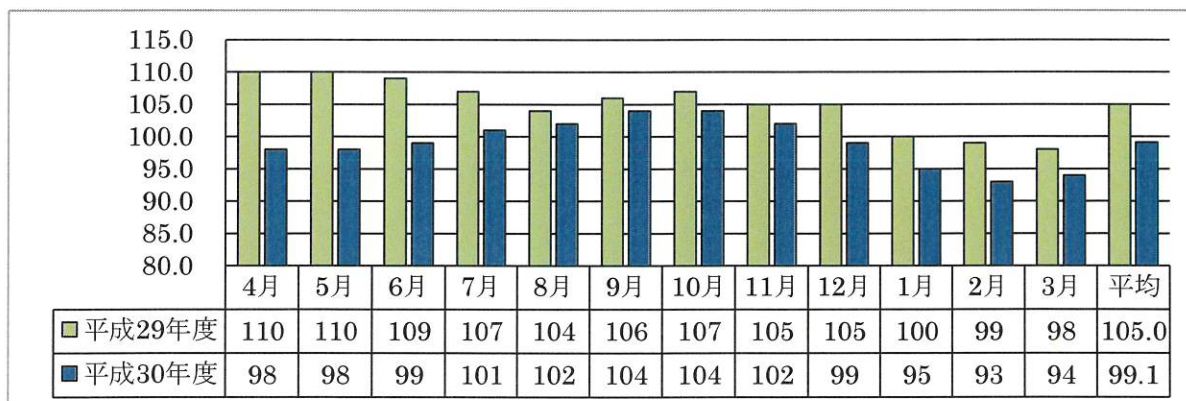
- ・担当利用者の相談や、多職種が集う会議等への参加を通し、各関係者との連携を深めた。関係者から他の専門職の紹介を受ける等、新たなネットワークの構築や社会資源の発掘にも繋がった。
- ・南区居宅連絡会の活動においては、医療連携に関する研修を企画し、地域の介護支援専門員と医療相談員との連携を深める機会を作ることができた。

□稼働率の向上

- ・目標レセプト件数 108 件/月 → 実績 99.1 件/月 (解約者 18 件、新規利用者 24 件)
- ・上半期は新規受託件数増加、解約者数は減少していたが、昨年度末の件数低迷からのスタート、入院等による一時的な中断、また9～11月に業務調整の為新規受託を制限したことが影響し、目標達成に至らなかった。
- ・12月以降は新規受託を再開し、依頼を受ける地域も拡大している。

2. 業務実施状況

【実績件数】



(その他)

・認定調査件数 73件/年 (平成29年度 103件/年、平成28年度 124件/年)

【介護度別利用者状況 (件数)】

	事業対象者	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H30年3月	1(1%)	20(21%)	17(17%)	30(31%)	16(16%)	8(8%)	6(6%)	98
H31年3月	3(3%)	21(22%)	21(22%)	27(29%)	8(9%)	9(10%)	5(5%)	94

【地域別利用者状況 (件数)】

	新飯田	茨曾根	庄瀬	小林	町部	白井・白根北	味方・月潟	区外	計
H30年3月	24(25%)	20(20%)	38(39%)	6(6%)	6(6%)	3(3%)	0(0%)	1(1%)	98
H31年3月	21(22%)	15(16%)	44(47%)	3(3%)	7(8%)	2(2%)	1(1%)	1(1%)	94

【新規利用者相談経路 (件数)】

	本人	家族	地域包括支援センター	医療機関	他機関	計
H29年度	0(0%)	4(21%)	11(58%)	3(16%)	1(5%)	19
H30年度	2(8%)	5(21%)	14(59%)	1(4%)	2(8%)	24

第8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）

1. 理事会、評議員会の開催状況

区分	日時・会場	事項
第1回理事会	平成30年5月31日(火) 午後1時30分～ 特別養護老人ホーム しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成29年度事業報告について 2. 社会福祉法人しろね福祉会平成29年度収支決算報告について ***** 監査報告 ***** 3. 社会福祉法人しろね福祉会平成30年度社会福祉充実計画について 4. 社会福祉法人しろね福祉会第三者委員の選出について 5. 社会福祉法人しろね福祉会平成30年度第1回評議員会の招集について
第1回評議員会	平成30年6月20日(水) 午後1時30分～ 特別養護老人ホーム しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成29年度事業報告について 2. 社会福祉法人しろね福祉会平成29年度収支決算報告について ***** 監査報告 ***** 3. 社会福祉法人しろね福祉会平成30年度社会福祉充実計画について
第2回理事会	平成30年10月25日(木) 午後1時30分～ 特別養護老人ホーム しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成30年度上半期事業報告について
第3回理事会	平成31年3月26日(火) 午後1時30分～ 特別養護老人ホーム しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成30年度第一次補正予算（案）について 2. 社会福祉法人しろね福祉会2019年度事業計画（案）について 3. 社会福祉法人しろね福祉会2019年度収支予算（案）について 4. 社会福祉法人しろね福祉会通所介護及び介護予防通所介護相当サービス運営規程の一部改正（案）について 5. 社会福祉法人しろね福祉会就業規則の一部改正（案）について 6. 社会福祉法人しろね福祉会パートタイム職員就業規則の一部改正（案）について 7. 社会福祉法人しろね福祉会職員給与規程の一部改正（案）について

2. 防災訓練実施状況

区 分	第 1 回	第 2 回
訓練の区分	消防計画に基づく総合訓練（昼間）	同 左（夜間想定）
実施の日時	平成 30 年 6 月 27 日（水） 14 時 00 分～14 時 40 分	平成 30 年 11 月 15 日（木） 14 時 00 分～15 時 20 分
実施の場所	調理室からの出火を想定し、正面玄関に避難	夜間洗濯室からの出火を想定し、ボランティアステーションに避難
訓練参加者	職員（34 名） 利用者（53 名）	職員（20 名） 利用者（23 名）
避難訓練内容	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器・補助消火栓を使用し、初期消火	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器を使用し、初期消火
講評・反省等	<ul style="list-style-type: none"> ・役割が決まっています、職員が声を掛け合いながらスムーズに避難誘導できました。 ・通報訓練では慌てずに通報することができました。 ・実際に避難が必要になったとき、落ち着いて行動できるよう繰り返し訓練を行うことが大切。 ・避難経路を常に確認しておくことが大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話での全館放送が聞き取りにくかった。 ・避難放送の音量が小さかった。 ・避難誘導の際、職員同士が声をかけ合うことによって、無駄な動きがなかった。 ・常に避難経路を把握しておくことが大切だと感じた。
その他 (防災訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備業者の指導のもと、補助消火栓の取扱方法説明と実際に消火栓を使用しての放水訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員（応急手当普及員講習受講者）及び消防設備業者の指導のもと職員対象に下記の訓練を実施 <ol style="list-style-type: none"> 1. AEDを用いて一次救命訓練 2. 水消火器を使用しての消火訓練 3. 消火栓を使用しての放水訓練 4. スモークマシンによる煙体験

(その他)

平成 30 年 9 月 30 日（日）10:00～庄瀬地区防災訓練参加

※地域の方へ要援護者の搬送方法を指導した。

3. 研修参加の状況

【外部研修】

	研修名	研修期間						参加人数	日数	延べ人数
		年	月	日	～	月	日			
1	介護トラブル解決セミナー	30	4	11		4	11	2	1	2
2	主任介護支援専門員更新研修		5	7		7	1	1	8	8
3	エルダー研修		5	16		5	16	4	1	4
4	介護職員のための腰痛を防止する介護技術コース		5	17		5	18	2	2	4
5	新潟市在宅医療ネットワーク情報交換会		5	20		5	20	2	1	2
6	平成30年度企画研修第1回研修会		5	22		5	22	2	1	2
7	南区3包括権利擁護班主催「成年後見制度勉強会」		5	24		5	24	1	1	1
8	平成30年度新潟市認知症介護基礎研修		5	24		5	24	2	1	2
9	第1回管理者研修会		5	29		5	29	1	1	1
10	接遇研修(初任者コース)		6	5		6	5	1	1	1
11	接遇研修(リーダーコース)		6	7		6	7	1	1	1
12	外国人技能実習制度セミナー		6	13		6	13	1	1	1
13	接遇研修(初任者コース)		6	19		6	19	2	1	2
14	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会総会研修会		6	20		6	20	1	1	1
15	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)		6	21		6	22	1	2	2
16	第2ブロック部会平成30年度第1回研修会		6	25		6	25	2	1	2
17	平成30年度総会及び経営者研修会		6	28		6	28	1	1	1
18	自立支援を考える会in南区		6	28		6	28	6	1	6
19	社会福祉士実習指導者講習会		6	29		6	30	1	2	2
20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース		7	5		7	6	1	2	2
21	平成30年度施設介護支援専門員研修会		7	6		7	6	1	1	1
22	フィジカルアセスメント研修		7	13		7	13	4	1	4
23	社会福祉施設安全管理研修会		7	13		7	13	1	1	1
24	ホクギン介護福祉経営セミナー		7	19		7	19	1	1	1
25	介護ロボット導入・活用セミナー		7	19		7	19	1	1	1
26	南区3包括権利擁護班主催「高齢者虐待勉強会(基礎編)」		7	20		7	20	2	1	2
27	みなふくねっと勉強会「パーソンセンタード・ケア」		7	20		7	20	5	1	5
28	平成30年度給食施設指導会		7	24		7	24	1	1	1
29	高齢者・障がい者虐待防止・対策研修		7	31		7	31	1	1	1
30	平成30年度企画研修第3回研修会		7	31		7	31	1	1	1
31	社会福祉法人監事研修		8	3		8	3	1	1	1
32	コミュニケーションスキルアップ研修(初任者コース)		8	7		8	7	2	1	2
33	新潟県経営協セミナー(前期)		8	10		8	10	1	1	1
34	記録の書き方研修		8	21		8	21	1	1	1
35	気づく力研修		8	28		8	28	1	1	1
36	コミュニケーションスキルアップ研修(リーダーコース)		8	31		8	31	1	1	1
37	南区保健医療福祉のつながりを深める学習会		9	1		9	1	1	1	1
38	摂食及び嚥下に関する基礎研修		9	3		9	3	1	1	1
39	福祉・介護職員リーダーシップ研修		9	4		9	4	3	1	3
40	平成30年度バサーに係る食品衛生講習会		9	5		9	5	1	1	1
41	気づく力研修		9	6		9	6	1	1	1
42	主任介護支援専門員研修		9	10		10	22	1	11	11
43	ストレスマネジメント研修		9	14		9	14	3	1	3
44	みなふくねっと施設見学会		9	19		9	19	3	1	3
45	平成30年度給食施設指導会		9	26		9	26	1	1	1
46	新潟県老人福祉施設協議会研修大会		9	26		9	27	1	2	2
47	福祉サービスに関する苦情解決責任者研修会		10	23		10	23	1	1	1
48	施設ボランティア受け入れ担当者研修会		10	24		10	24	1	1	1
49	コーチング研修		10	26		10	26	1	1	1
50	口腔ケア研修		11	1		11	1	1	1	1

51	対人援助職のためのファシリテーション研修		11	6		11	6	4	1	4
52	結核・感染症研修会		11	7		11	7	1	1	1
53	みなふくねっと勉強会「レク研修会」		11	22		11	22	4	1	4
54	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会南ブロック活動		11	22		11	22	3	1	3
55	看取りケア研修		12	13		12	13	1	1	1
56	新潟県老人福祉施設協議会第2ブロック研修会		12	17		12	17	1	1	1
57	平成30年度新潟市高齢者虐待防止研修		12	17		12	17	2	1	2
58	平成30年度新潟市高齢者虐待防止研修		12	18		12	18	1	1	1
59	介護支援専門員更新研修	31	1	10		3	1	1	8	8
60	認定調査従事者研修		1	16		1	16	3	1	3
61	応急手当普及員再講習		1	16		1	16	1	1	1
62	認定調査従事者研修		1	18		1	18	2	1	2
63	みなふくねっと介護技術研修会		1	25		1	25	2	1	2
64	働き方改革関連法説明会		1	7		1	7	1	1	1
65	外国人介護士活用セミナー		2	12		2	12	1	1	1
66	魅力ある職場環境づくりセミナー		2	19		2	19	1	1	1
67	労務セミナー		2	22		2	22	1	1	1
68	みなふくねっと・居宅連絡会合同研修会		3	20		3	20	6	1	6
69	新潟県老人福祉施設協議会 第2回管理者研修会		3	28		3	28	1	1	1
								117	98	147

【内部研修】

	研修名	研修期間						参加人数	日数	延べ人数
		年	月	日	～	月	日			
1	倫理研修	30	4	9		4	9	10	1	10
2	接遇・ビジネスマナー		4	24		4	24	17	1	17
3	施設管理		5	14		5	14	15	1	15
4	感染症研修（食中毒編）		5	28		5	28	9	1	9
5	リスクマネジメント（SHELL分析）		6	11		6	11	4	1	4
6	リスクマネジメント（SHELL分析）		6	25		6	25	6	1	6
7	お口の健康で元気力アップ～口腔ケア編～		7	4		7	4	28	1	28
8	生活リハビリ・褥瘡		7	23		7	23	10	1	10
9	介護報酬改定（施設編）		8	20		8	20	12	1	12
10	介護報酬改定（在宅編）		8	27		8	27	9	1	9
11	感染症研修（インフルエンザ・ノロウイルス）		9	10		9	10	6	1	6
12	感染症研修（インフルエンザ・ノロウイルス）		9	25		9	25	4	1	4
13	看取りケア（基礎編）		10	9		10	9	4	1	4
14	苦情対応のしくみ		10	22		10	22	13	1	13
15	虐待・身体拘束		11	12		11	12	8	1	8
16	虐待・身体拘束		11	26		11	26	6	1	6
17	ラインケア（外部講師）		12	10		12	10	23	1	23
18	リスクマネジメント（介護事故）		12	25		12	25	7	1	7
19	医療知識（①誤嚥時の対応②フォーレ管理）	31	1	28		1	28	7	1	7
20	看取りケア（応用編）		2	25		2	25	5	1	5
21	認知症ケア		3	11		3	11	8	1	8
(研修参加の状況)								211	21	211

平成30年度外部研修は、一人1研修受講できるように、社会福祉協議会主催の研修を中心に参加人数を調整した。また、各専門職の専門性が高められるような研修に積極的に参加した。

内部研修については、介護職員の入退職等が影響し、下半期定期研修会の回数を見直したが、予定していたテーマについては、全て開催することができた。

痰吸引等安全管理委員会主催の喀痰吸引に関する技術向上を目的とした研修も、介護職員の半数以上が参加できた。

その他に、居宅ケアマネが中心となって、多職種による法人内事例研究会を3回（6月、10月、1月）開催し、情報共有を図った。

4. 実習生受け入れ状況

【月別実習人数】

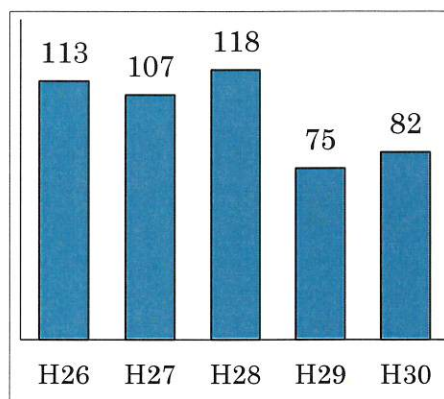
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習人数	0	0	0	1	1	1	2	3	1	0	0	0	9
延べ日数	0	0	0	1	12	11	16	36	6	0	0	0	82

【種別】

実習名	人数	延べ日数	実習依頼校
社会福祉援助技術現場実習	3	71	新潟医療福祉大学 国際こども・福祉カレッジ
介護職員初任者研修	1	1	三幸福祉カレッジ
介護福祉士実習	1	10	新潟青陵大学
計	5	82	

【年度別推移】

年度	H26	H27	H28	H29	H30
延べ日数	113	107	118	75	82



(実習生受け入れ状況)

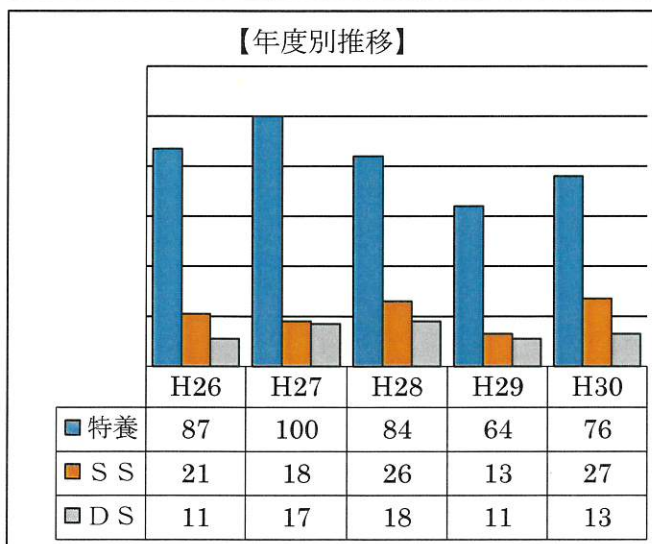
平成30年度実習生受け入れ状況は、昨年度とほぼ同じ状況。事前に受け入れ予定確認を依頼してくる養成校数も減ってきており、現在は4校のみとなっている。

また、事前に受け入れ可能と伝えてあるが、学生の居住地・交通手段等の関係で、最終的に学生の配属ができないと、養成校より回答がくる場合が多かった。

5. 事故、苦情発生状況

(1) 事故状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	9	9	14	19	6	10	12	3	11	7	12	116



(事故発生状況)

平成30年度事故発生状況は、転倒・尻もち、その他の件数が増加した。

また、拠点より居室で発生する場合が多かった。

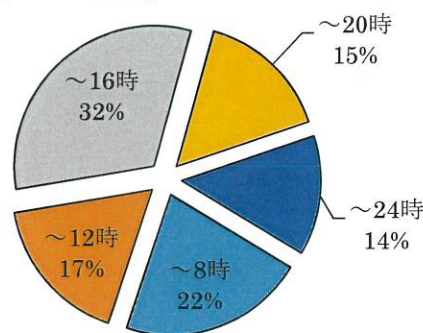
その他として、介助中の表皮剥離や裂傷・擦傷等の受傷事故が挙げられるが、それ以外に異食が多数発生した。

骨折等の重大事故は3件。その内2件は、下肢筋力低下のある認知症利用者の転倒、もう1件はリウマチのある重度寝たきり利用者の介助中で、いずれも新潟市へ報告を行った。

【事故別】

	特養	SS	DS	合計
転倒・尻もち	21	18	5	44
転落・ずり落ち	12	3	1	16
誤嚥	0	0	0	0
誤薬	2	0	0	2
その他	41	6	7	54
合計	76	27	13	116

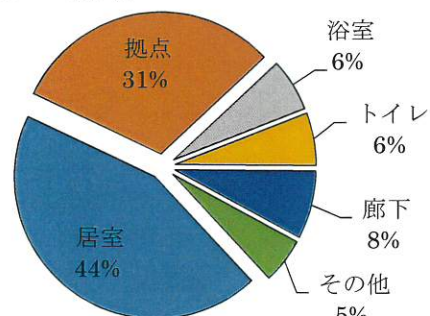
【発生時間帯】



【受傷別】

	特養	SS	DS	合計
骨折	3	0	0	3
打撲・腫脹	4	2	1	7
表皮剥離	11	2	1	14
裂傷・擦傷	6	4	1	11
皮下出血	4	0	1	5
その他	4	0	0	4
異常なし	44	19	9	72
合計	76	27	13	116

【発生場所】



(2) 苦情 (意見・要望等)

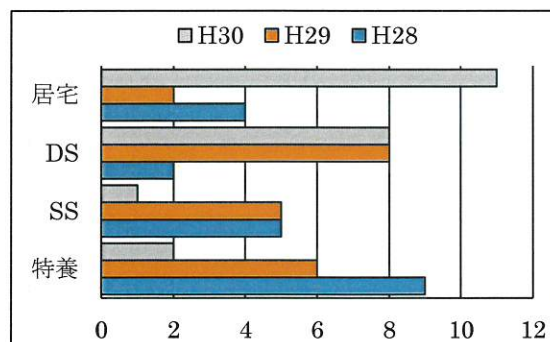
苦情 (意見・要望等) 受付件数は、前年度並みであった。申出人の状況としては、本人が 7 件、本人以外 (配偶者、家族、関係機関等) が 14 件、その他が 1 件だった。

受付経路は、申出人から直接の場合と、担当ケアマネ等から間接的に受け付ける場合があり、居室の件数については、全てサービス事業所に対して間接的に受け付けた件数だった。

今年度は、園内に新しい意見箱を設置した。また、特養・ショート・デイについては、利用者満足度アンケートを実施し、意見・要望の収集に努めた。

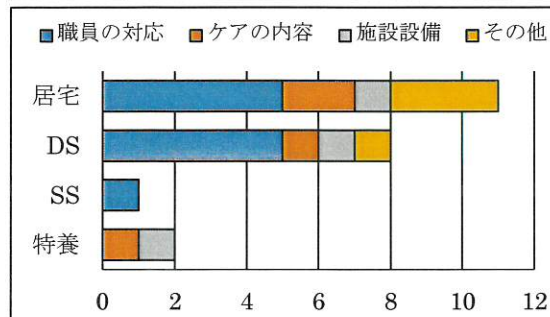
【苦情受付状況】

	特養	SS	DS	居室	合計
H30	2	1	8	11	22
H29	6	5	8	2	21
H28	9	5	2	4	20



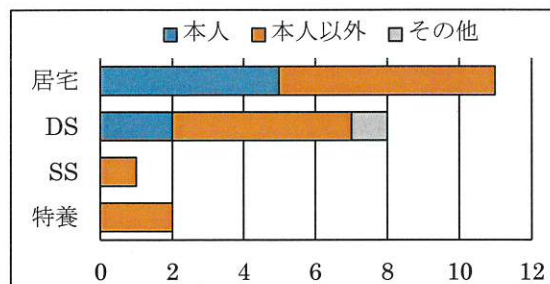
【苦情内容】

	特養	SS	DS	居室	合計
職員の対応	0	1	5	5	11
ケアの内容	1	0	1	2	4
施設設備	1	0	1	1	3
その他	0	0	1	4	5
合計	2	1	8	12	22



【申出人状況】

	特養	SS	DS	居宅	合計
本人	0	0	2	5	7
本人以外	2	1	5	6	14
その他	0	0	1	0	1
合計	2	1	8	11	22



6. ボランティア受け入れ状況

ボランティア来園者数は、ほぼ昨年度並みの状況だった。定期訪問のボランティアが高齢化しており、施設までの移動手段や活動時間の短縮等の相談があった。

新潟市社会福祉協議会主催のサマーチャレンジボランティア受け入れ施設として、毎年申し込みしていたが、今回初めて応募があり、3名の高校生を受け入れることができた。

その他、ボランティア交流会も例年通り実施することができた。

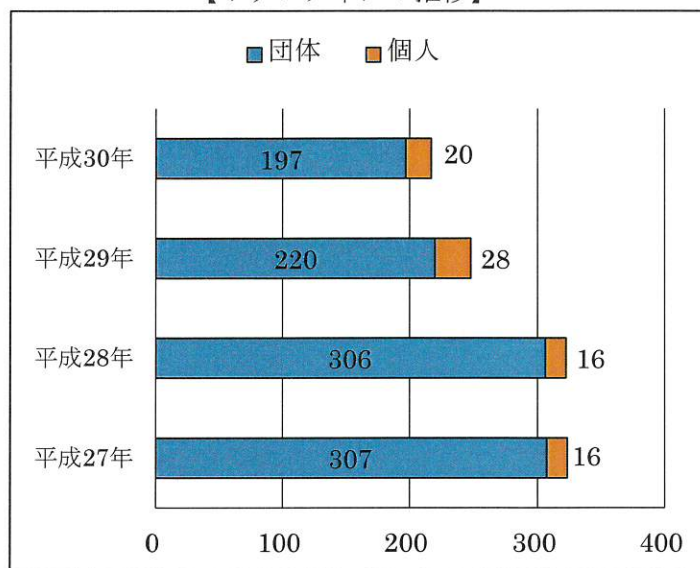
【来園ボランティア】

日付	ボランティア名	区分	人数	日付	ボランティア名	区分	人数		
H30	4月7日	滝沢文子様	個人	1	10月1日	麗人会様	団体	6	
	4月15日	LE RETRO HEART MUSIC様	団体	2	10月6日	滝沢文子様	個人	1	
	4月30日	白根ローターアクトクラブ様	団体	5	10月6日	朱鷺の会様	団体	2	
	5月7日	麗人会様	団体	7	10月6日	石山和美様	個人	1	
	5月10日	仲良会様	団体	4	10月16日	南区マジック軍団様	団体	3	
	5月15日	南区マジック軍団様	団体	2	11月2日	滝沢文子様	個人	1	
	5月24日	折り鶴様	団体	6	11月5日	麗人会様	団体	12	
	6月2日	滝沢文子様	個人	1	11月8日	仲良会様	団体	6	
	6月4日	麗人会様	団体	7	11月22日	折り鶴様	団体	6	
	6月13日	朱鷺の会様	団体	2	11月22日	まこも会様	団体	4	
	7月2日	麗人会様	団体	7	11月27日	損保ジャパン日本興亜AIRオートクラブ様	団体	13	
	7月6日	滝沢文子様	個人	1	12月1日	滝沢文子様	個人	1	
	7月26日	折り鶴様	団体	7	12月3日	麗人会様	団体	6	
	7月31日	白南中学校夏休みボランティア体験	団体	3	12月6日	南区マジック軍団様	団体	2	
	8月4日	滝沢文子様	個人	1	12月27日	折り鶴様	団体	6	
	8月6日	麗人会様	団体	5	H31	1月18日	滝沢文子様	個人	1
	8月15日	サマーチャレンジボランティア	団体	3		2月2日	滝沢文子様	個人	1
	8月23日	折り鶴様	団体	8		3月1日	滝沢文子様	個人	1
	9月3日	麗人会様	団体	7		3月4日	麗人会様	団体	7
	9月7日	滝沢文子様	個人	1		3月13日	南区赤十字奉仕団様	団体	20
9月9日	堤敏之様	個人	1	3月22日		南区マジック軍団様	団体	1	
9月23日	南区肢体不自由児者父母の会様	団体	20	3月26日		富山スミエ様	個人	1	
9月27日	折り鶴様	団体	8	3月28日		折り鶴様	個人	6	

【月別ボランティア数（延べ人数）】

	団体	個人	合計
4月	7	1	8
5月	19	0	19
6月	9	1	10
7月	17	1	18
8月	16	1	17
9月	35	2	37
10月	11	2	13
11月	41	1	42
12月	14	1	15
1月	0	1	1
2月	0	1	1
3月	28	8	36
合計	197	20	217

【ボランティアの推移】



【家族介護者教室の実施状況（新潟市委託事業）】

開催/日時/会場	内容	参加数	職員数
平成30年10月18日（木） 午後1時30分～午後3時30分 南区白根健康福祉センター第2研修室	「介護についてお話しませんか」 講師：特養介護主任	14	4
平成31年3月23日（土） 午後1時30分～午後3時30分 南区白根健康福祉センター（共催：より道カフェかけ橋）	「詩と歌 癒やしのひととき 健康体操 リフレッシュのひととき」 講師：業務課長 居宅職員	28	3
計		42	7

（家族介護者教室の実施状況）

平成30年度家族介護者教室は、2回実施することができた。しなの園単独で開催した第1回教室では、介護についての講義と座談会の2部構成で行ったが、テーマに感心のある方が増えてきているのか、結果として参加人数が増えた。第2回教室は、前年度同様に認知症カフェ「より道カフェかけ橋」と共催で行った。